

蒸気機関車 小野十三郎詩集

# 蒸気機関車 小野十三郎詩集



創樹社



小野十二郎詩集  
蒸気機関車  
目次

機関車に 10  
出発 12  
機関車二題  
広軌機関車操作 14  
又 15  
超大蒸気機関車 16  
日本の鉄道 20

雪げむり	28
大阪どまり	32
吹田機関区	33
信号所の上	37
雀の水浴び	38
野蛮な鉄道の中で	40

3

詩人の旅 44

運搬 50

52 友情列車

54 訳詩 カアル・サンドバアグ

南太平洋鉄道

56 訳詩 マックス・バルテル

汽罐車

58 宮原機関区の人たち

64 北越雪譜

69 黒煙、原野を行く

73 天の氷駅

78 三重連

79 最後の影

写真

原元

江川常一

P12~13・P74~75・P76~77

渡部雄吉

P50~51

根木智峰

P58~59

散文

84 自作の解説「出発」

86 機関車

90 玩具の機関車

93 その朝

96 蒸気機関車

100 機関車に乗って

103 蒸気機関車への挽歌

# 蒸気機関車

小野十二郎詩集



造本—加東紀



## 機関車に

その下にあるものの血を湧きたたせ

それにたち向うものの眼を射すくめる俺たちの仲間

機関車は休息のうちにあっていささかも緊張の度をゆるめず

夜ふけて炭水車に水を汲み入れ 石炭を搭載し

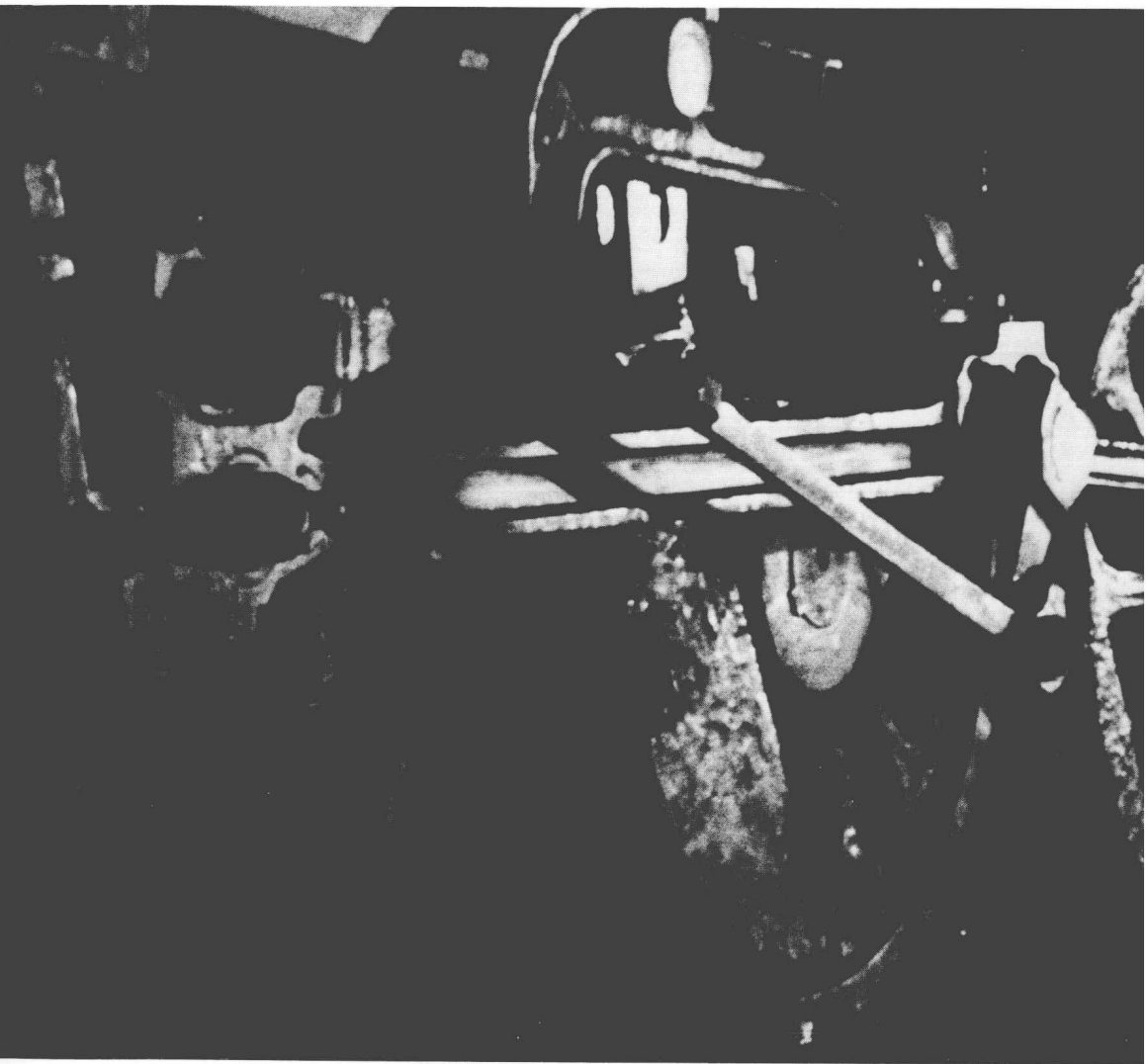
懐中電燈もて組織のすみずみを照明し

浮いたねじの頭をしめ唧子ピストンに油をそそぎ

つねに巨大なる八つの大動輪を鋼鉄の路において明日の用意を怠らず

前燈を消して

ひとり夜の中にある



## 出 発

屋根に

雪をおいて

米原の夜の中に

長い貨物列車がとまっている。

ブリッジシグナルの下で

D52型の二台の機関車が白い湯気をあげている。

あご紐をしめた機関士は

ブザーに手をかけて

後尾の方を見ている。



ガチン！ と北陸へ  
ポイントが切りかえられ  
前方で  
鋭い尖端軌条のきつききが  
月明の大地を牽いて動いた。



## 機関車二題

### 広軌機関車操作

千葉の

鉄道聯隊では

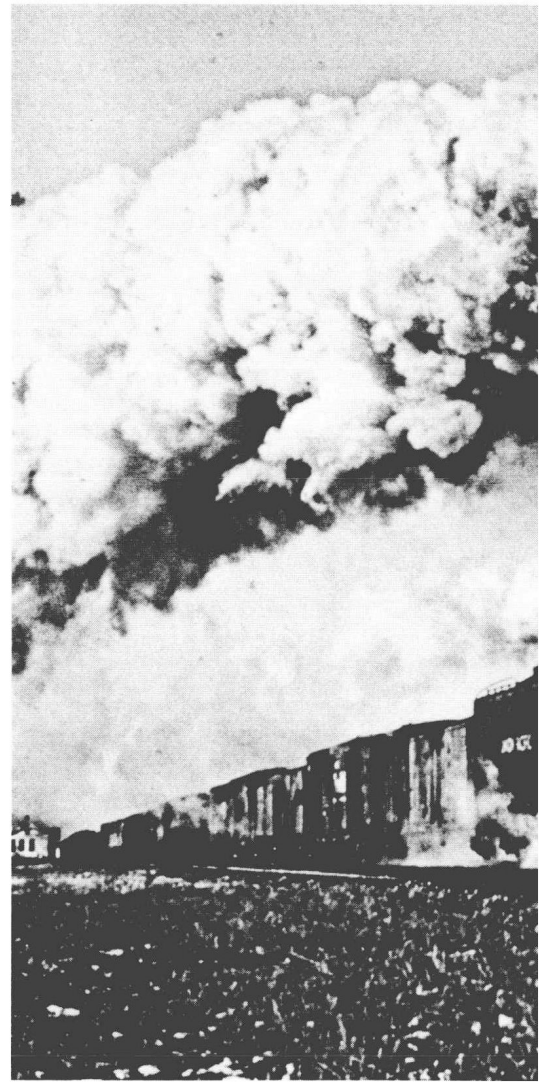
とつくの昔から

広軌機関車の操作訓練をやっている。

——今や軍隊が最も進歩している所以である。



又  
北支の  
南口山道には  
十六個の動輪を有するアメリカ製の巨大な機関車が動いている



TRAINS AROUND THE WORLDより



## 超大蒸気機関車

B50

C50 C53 C54 C55 C56 C57 C58

D50 D51

蒸気機関車の形態にも純日本型というやつがある

私の最も好きな型式は

D50と呼ばれるやつだ。

貨車専用。体裁鈍重なれども威あり。

C58は三気筒で目下本邦最大の機関車だが

汽鐘ホイアラの胴廻りの太い割に